

国会との絆、育まれる

国会議員の皆さんらとの絆が強められ、感謝の日々です。2020年12月に衆議院議員会館で、1年ぶりに「フリースクール等超党派議員連盟総会」が開催されました。全国のホームスクーリング展開についてレポートするように依頼され、現状報告と新提案ができました。

党派を超えた多くの議員の皆さんが、ホームスクーリングの法的な環境整備のために連帯し、大事な役割を果たしてくださっています。良き法律ができたとはいえ、まだまだ啓発と改定が必要です。すでに50年以上のホームスクーリングの歴史を持ち、全州で合憲合法を勝ち取っているアメリカにおいても、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）で働く10名あまりの弁護士がサポートし、10万家族がメンバーとなって

います（我が家もその1家族）。多くのスタッフがホワイトハウスや上下院や各州議会議員らに対するロビイストとして、ホームスクーリングの自由を守るために働いています。なぜなら、これは霊的な戦いでもあり、自由を束縛し、コントロールしようとする悪い条例が出ては抑えられ、抑えては出てきて、不当な圧力がかけられる傾向があるため、継続的で強力な法的備えと働きかけが必要であるからです。

その結果、アメリカでは、ホームスクーラーの国政・メディアへの影響力は大きく、3大ロビイストの一つと言われています（ほかの2つはユダヤ系団体と、同性愛団体）。日本でのチャ・にっぽんの働きは、まだまだ小さな働きですが、神様は召しを与え、必要な皆さん方との出会い



多様な教育をめぐる「教育機会確保法」等についての議連総会（2020年12月9日）

や知恵を与え、皆さんの祈りとご奮闘の中で、ホームスクーリングの環境整備とキリストのムーブメントを進めてくださっているといます。

以下、議員の皆さんとの交流日程です。

- 2020年6月23日
河村 建夫 元官房長官 / 文科大臣
- 7月27日
笠 浩史 元文科副大臣
- 9月2日
河村 建夫 元官房長官 / 文科大臣
- 9月17日
石破 茂 元自民党幹事長 / 地方創生大臣
- 9月28日
馳 浩 元文科大臣
- 9月29日
笠 浩史 元文科副大臣
- 11月17日
国家朝餐祈禱会
石破 茂 衆議院議員
山川 百合子 衆議院議員
松平 浩一 衆議院議員
- 12月9日
フリースクール等超党派議員連盟総会
- 12月10日
馳 浩 元文科大臣
- 12月22日
河村 建夫 元官房長官 / 文科大臣
- 12月22日
笠 浩史 元文科副大臣
- 2021年3月26日
河村 建夫 元官房長官 / 文科大臣
- 4月21日
笠 浩史 元文科副大臣 (予定)

「読みたいから、(チア・ニュースレター) 頂いていいですか？」(河村建夫元官房長官)

昨年9月上旬、超党派フリースクール等議員連盟の河村建夫会長(元官房長官、元文科大臣)



河村建夫 元官房長官 / 文科大臣と隆子夫人
(3月26日)

の朝食会でのことです。ちょうど、その直前に、河村会長は朝日新聞一面ほか各紙に登場されていました。

当時は、まだ首相候補への派閥の支持が確定していない時でした。「二階派(47人)の幹部は30日、対応を協議した。同派の河村建夫元官房長官は会合後、記者団に『そういう(菅氏を推す)空気が生まれてきつつある』と述べ、派として菅氏を支持する考えを示した」という朝日新聞(8月31日1面)の記事を始め、各メディアに大きく取り上げられていました。

朝食会でお会いした9月2日は、9時から臨時の予算委員会、11時から辞任決定後の安倍首相との面談とのことで、あわただしく、いつもの「ホームスクーラーのアップデート」をする時間はありませんでした。それで、チアのニュースレター179号に掲載した河村会長の記事だけお見せし、「(チア担当の)秘書さん(河村議員の弟さん)に渡しておきます」と伝えました。すると、「私、読みたいから、頂いていいですか？」と話してくださいました。それで「喜んで」と渡しました。

河村隆子夫人も「私も読みたいわ」と、受け取ってくださいました。隆子夫人は以前から、「私もクリスチャンです。この時代は新しい制度改革がいろいろとできるチャンス。ぜひ、主

人を用いてください」と話し、励ましてくださっていました。いつもお世話になっている秘書さんにもお渡しし、聖書のことばや希望のメッセージ満載のチア・ニュースレターとともに、ホームスクーラーのアップデートをさせていただくことができました。センシティブなタイミングの首相官邸に向かう、とりわけ忙しかった朝に、長年、ホームスクーラーに寄り添ってくださっている河村議員らとこのような機会が与えられたことに、感謝です。

2021年1月にお会いした時は、河村議員が盲腸の手術を受けられた直後の朝食会で、大勢の方が挨拶しておられたので、私は短い挨拶だけにしました。すると、会場入り口で隆子夫人が声をかけてくださり、お礼を伝えながら、チアのニュースレターを手渡すと「素晴らしいわー。何か私にもお手伝いできることがあれば、したいわ」と話してくださいました。そこへ河村議員が来られ、「あ、また（ニュースレターを）読んでみたい。頂けますか？」と聞いてくださり、ホームスクーラーのアップデートを兼ねてお渡しすることができました。本当に感謝でした。

「(教育委員会は) また、そんなことを言ってるのですか。とんでもない！」
(笠浩史 元文科副大臣 / 無所属)

フリースクール等議連幹事長代理の笠浩史議員（元文科副大臣）とお会いした時は、ちょうど教育委員会から「教育機会確保法は、積極的なホームスクーラーのための法律ではない」と言われたという相談が寄せられたタイミングで



(写真上) 笠 浩史 元文科副大臣（無所属）

(写真下) 石破 茂 元自民党幹事長 / 地方創生大臣

した。

笠議員に話すと「またそんなことを言ってるのですか。とんでもない。もし何かあれば、私に詳しく話に来てください。また一緒にやりましょう」とおっしゃっていただきました。幸い、この件は、教育委員会側が軟化し、解決したため、ご相談にあがることはなかったですが、とても心強いお言葉に深く励まされました。昨年末にお会いした時も、「ぜひ、また会って、やりましょう」と話してくださいました。コロナが落ち着いたら、お話を伺おうと思っています。

石破議員に聖句を分かち合っ

石破茂 元地方創生大臣は、文教関係を専門とされる議員ではありませんが、クリスチャンの議員としてこれまでも多くの励ましを頂き、私も神様からの祝福を祈っていきたくと思っています。昨秋は総裁選直後、石破議員の派閥が主催する会に出席し、多くの人々が参加されました。終了後に直接お話しする機会が与えられました。「イエス様は今回の総裁選を通して、石破先生の志しの高さにご奮闘ぶりを喜んでおられると思います。次回を祈っています」と伝え、石破議員は真剣な顔で聞いてくださいました。

国家朝餐祈祷会（主催：日本 CBMC/青木仁志理事長）は、石破議員が派閥会長を辞任されて間もない時期に開催されました。石破議員は「自分はこれでよいのかと神に反省しながらの日々です」とスピーチ。帰られる道すがら、山川百合子衆議院議員の秘書で夫でもある瀬戸健一郎氏と共に、3人で少し一緒に歩く機会がありました。瀬戸氏は以前、市議会議員を務め、ホームスクーリングの環境整備を進める提案もされたことがあります。

エスカレーターの前で、石破議員にチアのニュースレターを見せ、聖句を読む機会が与えられました。「石破先生、これは、水月会（石破議員が設立した派閥）に参加した時の写真と、先生に励ましの言葉を頂いた時の記事です。石破先生のことを思う時、このニュースレターに掲載した2つの聖書のことばがよく心に浮かびます。今、読んでいいでしょうか」「（石破議員）はい、ぜひ」「『神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる』（詩篇 42:5）、『わたしは神、あなたの父の神である。エジプトに下ることを恐れるな。わたしはそこで、あなたを大いなる国民とする。

このわたしが、あなたとともにエジプトに下り、また、このわたしが必ずあなたを再び連れ上る』（創世記 46:3,4）です」。石破議員は、静かに黙って聞かれ、「ありがとうございます。またよろしくお願いします」とおっしゃって、次の会合に向かわれました。

新しいクリスチャン議員、 松平浩一議員（立憲）

国家朝餐祈祷会には、今年初めて、松平議員も参加されていました。今回、代表祈祷者のお



（写真上） 増山浩史 21世紀キリスト教会牧師
（写真下） 松平浩一 衆議院議員

一人を務めた増山浩史牧師の導きで、数年前に信仰を持たれ、受洗されました。以前も衆議院議員会館の事務所を訪ねたことがあり、祝福を祈らせていただきました。「日本のためにもクリスチャン議員の皆さんの使命は大きいです。祝福を祈っています」とお伝えしました。

院議員（衆議院文部科学委員、日本共産党文部科学部会長）が「せっかくホームスクーラーの団体や他の団体の皆さんもおられるので、次回は、そうした皆さんからの最新の声を伺いたいです」と発言していただきました。議長の馳浩

国会・文科省の皆さんに報告

2020年12月に超党派フリースクール等議連総会が開催されました。今回は、文科省の皆さんから、「教育機会確保法」の全国での浸透状況の報告に加え、経産省の皆さんから、IT教材プロジェクトの説明やフリースクール全国ネットワークの皆さんの発表で所定の時間が過ぎてしまいました。いつもご要望いただくチア・にっぽんからの報告と提案の時間は、「今回は無しかな」と思われました。

ところが会の終了間際、畑野君枝衆議



畑野君枝 衆議院議員
(衆議院文部科学委員、日本共産党文部科学部会長)



多様な教育をめぐる「教育機会確保法」等議連総会にて報告と提案をする筆者（写真右前）

議連幹事長（元文科大臣）が「いや、次回ではなく、今日、伺いましょう。はい、稲葉さんどうぞ」と指名してくださいました。私は神様をたたえつつ、以下の通り話しました。

「チア・につぼんの稲葉です。プロテスタントのクリスチャン系ホームスクーリング、またチャーチスクールというフリースクール等の全国的サポート団体です。まずは、お礼を申し上げたいです。4年前に風穴を開けることとなった『教育機会確保法』の成立、施行の効果は著しく、全国的にホームスクーリングを選択、継続しやすい環境が日に日に広がっています。コロナ禍で、これまでの教育方法が見直されていく中、チア・につぼんへの問い合わせや新しくスタートする方々も着実に増えています。こうした中で、このように総会を開いてくださり、さらに進歩的な法的環境整備を進めようとしてくださる議員、文科省、経産省、関係者の皆さんに感謝し、ぜひ、このような会を継続していただければと思っています。文科省の皆さんから、先ほど啓発活動のご報告がありました。少しずつ、多様な教育の重要性に鑑みる認識が全国に広がっていると実感しています。私たち自身もさらに啓発活動を続けていこうと思っています。大変、素晴らしい状況です。

しかし、実際にはいくつか、全国の教育委員会等からまだこんな不理解や不当な圧力があるのか、という事例も報告を受けています。今後、法的にも改善が必要と思われる3点をお知らせします。

1つは、『教育機会確保法は、教育基本法や学校教育法の下位の法律です。ですから、就学義務違反です』と言われたケース。法律には、憲法以外は、下位も上位もありません。『教育機会確保法』は、『教育基本法』『学校教育法』に具体的に書き込まれていない教育の大事な側面を補完する存在です。



(写真上) 「感動しました！」 寺田静参議院議員（無所属）と筆者（左）

(写真下) 寺田学衆議院議員
（立憲 / フリースクール等超党派議連事務局長）

2つ目は『教育機会確保法は、積極的なホームスクーラーのための法律ではない』と言われたケースがあります。教育機会確保法、また、関連する文科省省令を不当に狭く考える誤った解釈、と言ってよいと思います。

3つ目は、ホームスクーラーの小学校卒業資格、中学の学籍が認められないと圧力をかけられたケースもあります。

どれも、教育機会確保法や付随する文科省省

令に基づいて、教育委員会側の不当な行為・圧力である旨を伝え、保護者の皆さんには安心してもらい、また、教育委員会側も勉強不足だったということで謝罪や善処等があり、解決しています。しかし、上記3点等、今後の法律面での改正や補足を進める必要を感じています。また付帯決議にでも加えてくだされば、さらに、法的環境の整備が進んでいき、より多くの国民、家族、子どもたちが、さらに良い教育体験を重ね、社会に貢献していくものと思います。

いずれにせよ、このような素晴らしい総会、また、今後の改正への力の結集や推進の場を継続してくださり、心から感謝しています。全国のホームスクーラーたちは大変喜んでいますが、この場を借りて感謝申し上げ、さらに啓発・推進に尽力していこうと思っています」

「感動しました」

(寺田静 参議院議員／無所属)

総会終了後、数名の国会議員の方が近づいてきて、「感動しました」「また、ぜひ、やりましょう！」と励ましてくださいました。寺田静参議院議員(無所属)もその一人。「私も主人(フリースクール等議連事務局長を務める寺田学衆議院議員/立憲)と応援しています」と話してくださり、とてもうれしく思いました。議員会館前の玄関で再度、ご夫妻とめぐり逢い、話せたことも感謝でした。

「コロナが落ち着いたら面談を」

「喜んで！」(馳浩 元文科大臣)

翌日は、馳浩 議連幹事長(元文科大臣)の議員20周年記念の祝賀会がありました。会終了後、出席者に挨拶する馳議員が気さくに話しかけてくださいました

「昨日は、総会での報告ありがとうございました。また、継続して、これからも一緒にやっていきましょう」と笑顔で力強く話

してくれました。

「少しコロナが落ち着いたら、また面談に伺って、ご相談できればと思っていますが、いかがでしょうか」と言うと、笑顔で勢いよく「喜んで！」とのことでした。隣では、大学を卒業したばかりのお嬢さんが一緒に挨拶しておられました。それで少しマガジン等をお見せし、「ホームスクーリングの法律は、お父さんが幹事長でなければ、ここまで出来ませんでしたよ。すごく大きな変化が始まった。とても感謝していますよ」と言うと、「いえいえ、皆さんのおかげです」とご返答がありました。とても良き交わりができて感謝し、主をたたえました。皆さんのお祈りに感謝します。



(写真上) 馳 浩 フリースクール等超党派議連幹事長 / 元文科大臣

(写真下) 「皆さんのおかげです」
(馳 浩 元文科大臣の長女さん)